

2018年9月
No.18-100a(全)

検体検査実施料算定留意事項改正のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、2018年8月31日付厚生労働省保険局医療課長通知「保医発0831第11号」にて、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部が改正され、2018年9月1日より適用されることになりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

敬具

記

■「検査実施料」算定方法の一部改正

●算定方法が一部改正された項目

点数区分	検査項目名	検査方法	実施料	判断区分 判断料	注
D006-2 造血器腫瘍遺伝子検査					
-	BRCA1/2 遺伝子検査*	PCR 法	20,200	血液 125	*

[注]下線部が追加変更されました。

* :(3)BRCA1/2 遺伝子検査は、区分番号「D006-2」造血器腫瘍遺伝子検査の所定点数 2 回分、区分番号「D006-4」遺伝学的検査「3」処理が極めて複雑なものの所定点数 2 回分を合算した点数を準用して算定できる。

- ア 転移性又は再発乳癌患者の全血を検体とし、PCR 法等により、抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的として、BRCA1 遺伝子及び BRCA2 遺伝子の生殖細胞系列の変異の評価を行った場合に限り算定する。
- イ 本検査は、化学療法の経験を 5 年以上有する常勤医師又は乳腺外科の専門的な研修の経験を 5 年以上有する常勤医師が 1 名以上配置されている保険医療機関で実施すること。
- ウ 本検査は、遺伝カウンセリング加算の施設基準に係る届出を行っている保険医療機関で実施すること。ただし、遺伝カウンセリング加算の施設基準に係る届出を行っている保険医療機関との連携体制を有し、当該届出を行っている保険医療機関において必要なカウンセリングを実施できる体制が整備されている場合は、この限りではない。
- エ 本検査の実施に際し、区分番号「D006-2」造血器腫瘍遺伝子検査及び区分番号「D006-4」遺伝学的検査の点数を準用して算定する場合は、「注」に定める施設基準の規定は適用しない。

※ 2018年7月31日厚生労働省保険局医療課「事務連絡」により、検査項目名称が「BRACAnalysis 診断システム」から「BRCA1/2 遺伝子検査」に改正されています。